

にっぽんの元気は健康から！

目元
げんきびより
和気



株式会社 S・S・I

美しい日本、
元気な日本。



あなたの健康を
喜ぶひとがいる。



愛され続けて20年

仙生露

アガリクス茸

商品に関するご質問は、
仙生露取扱店もしくは、
下記フリーダイヤルまで

☎ 0120-680-111

(平日:9:00~18:00 ※土日・祝日除く)

🌐 www.s-s-i.jp

【総販売元】株式会社 S・S・I

東京都中央区日本橋大伝馬町2-5 石倉ビル3F

にっぽんの元気は健康から！



美しい日本、 元気な日本。

日本の元気は、
毎日の健康が大切です。
元気な体から
美しい日本、元気な日本へ。

目次

元気な日本は健康から

元氣日和

美しい日本を再確認
静岡・熱海

仙生露 20 周年記念
しなやかに生きる

仙生露生活のススメ
アクティブな患者を目指して

平成 25 年 7 月 1 日発行
発行人 竹口雅之
発行所 株式会社 S・S・I
〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 2-5 石倉ビル 3F
TEL: 03-3660-1235 FAX: 03-3660-1236
編集 ライフエンタテイメント株式会社
クリエイティブディレクター 額賀剛治
制作進行 岡本純也 池田大作
デザイン 北川原由貴 松田遥
カメラ 渡邊春信 (チームハブ) 山本榮穂 花井智子 宮島折恵
ライター 岩熊純子 香月よう子
印刷所 サンケイ総合印刷株式会社
© 本誌掲載記事の無断転載を固く禁じます。
<http://s-s-i.jp>

静岡 熱海市



国道135号線、下り車線沿いに建つ「貴一・お宮の像」。明治時代、読売新聞に掲載された「金色夜叉」の一場面です。一高の学生、間貴一が、自分を裏切った許嫁のお宮を許せず、追いつがるお宮を蹴り飛ばしたのが、ここ、熱海の海岸。現在は「熱海サンビーチ」というハイカラな名前がついています。

熱海 昭和の旅



都心から最も近い楽園、熱海。
新婚旅行や社員旅行の思い出のまちという人も多いはず。
そんな熱海を愛する方々が、懐かしい写真を提供してくれました。



1 熱海駅
昭和 38 年頃の熱海駅。ホームの様子 (写真・左) は、福島屋旅館の現店主が、小学生の頃に撮影した写真です。貨物列車の隣に写るのは伊東線。



2 銀座通り
昭和 25 年の熱海大火の後、熱海商店街は団結して復興しました。昭和 30~40 年代、熱海には新婚旅行や社員旅行の人々が訪れ、熱海銀座も連日賑わっています。写真は熱海市役所からご提供いただきました。



4 お宮の松
初代「お宮の松」は「羽衣の松」と呼ばれ、国道 135 号線道路の真ん中にもありました。熱海市役所よりご提供いただきました。



3 福島屋旅館
福島屋の創業は明治初期、現在の建物は終戦直後に建てられました。写真は昭和 32~33 年頃、壁がモルタルになって間もない頃だそうです。福島屋旅館よりご提供いただきました。



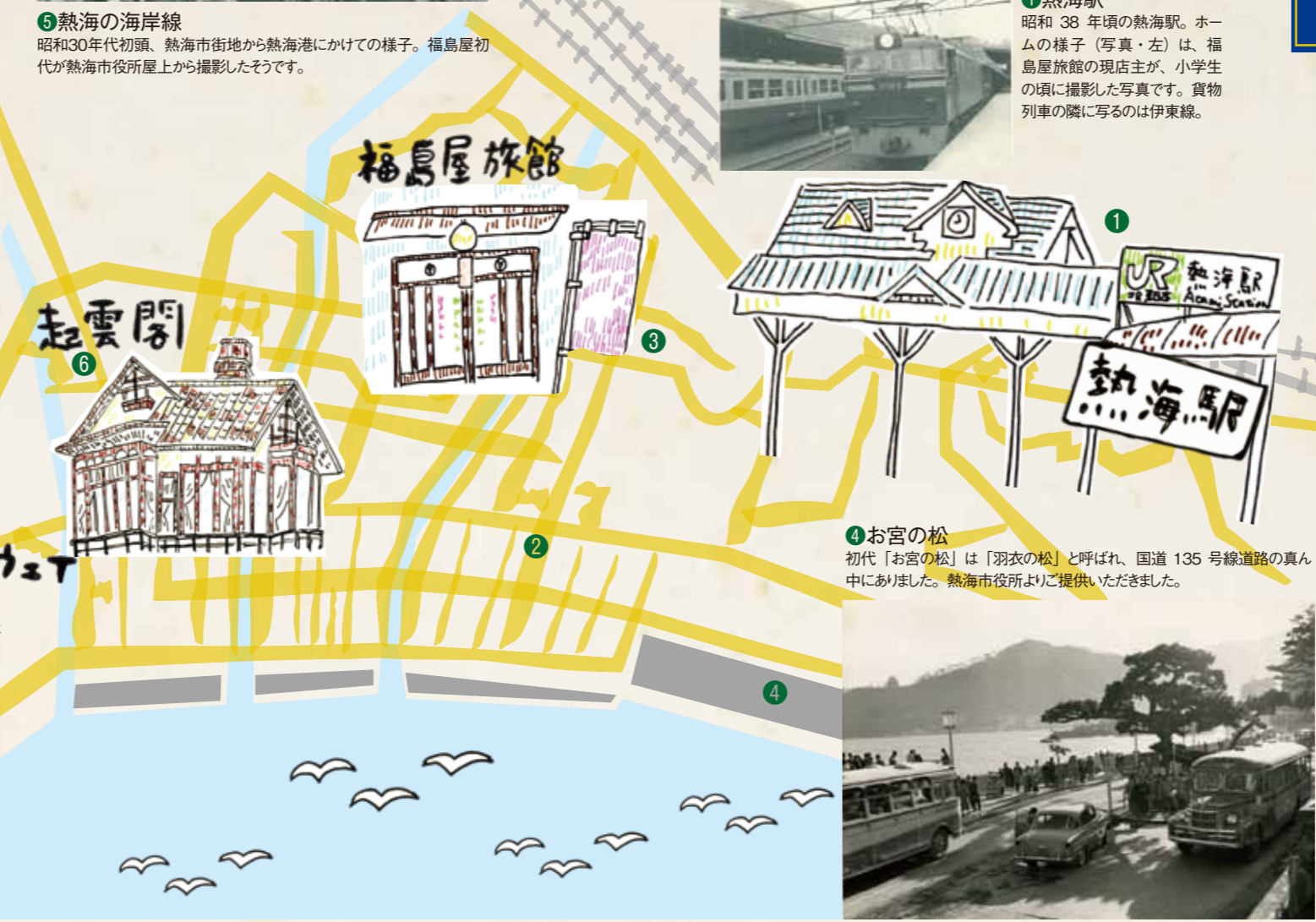
5 熱海の海岸線
昭和30年代初頭、熱海市街地から熱海港にかけての様子。福島屋初代が熱海市役所屋上から撮影したそうです。



6 起雲閣
昭和 50 年代の起雲閣のパンフレットより。写真上は庭園から臨む和洋館。左は当時新築された大広間です。パンフレットには「日本国有鉄道推薦旅館」の文字がありました。



7 ロープウェイ
昭和 33 年に開業した熱海ロープウェイ。モノクロ写真は福島屋より、カラーは熱海市役所よりご提供。



| | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------|------------------------------|--|-----------------|---|------------------------------------|--|------------------------------------|-------------------------------------|--|------------------|---|
| 昭和40年 熱海市人口のピーク (54540人) | 昭和39年 新幹線新幹線、 新幹線熱海駅開業 | 昭和25年 熱海大火 熱海市庁舎をはじめ、 温泉旅館街を焼き尽くす | 昭和12年 熱海市制施行 | 昭和9年 熱海駅〜函南駅間に 丹那トンネル開通 熱海への観光客が増加 | 大正14年 国鉄熱海(のちの東海道線) 開通 熱海駅開業 | 明治40年 熱海鉄道により、小田原〜熱海間 で蒸気機関車運転開始 | 明治30年 尾崎紅葉の『金色夜叉』が 読売新聞で連載開始 | 明治29年 熱海〜小田原に人が手押しする 豆相人車鉄道開通 | 明治22年 国内初の温泉療養センター 「噴瀧館」と東京木挽町の 東京電信局との間に、 日本初の公衆電話が開通 | 明治21年 熱海御用邸竣工 | 明治14年 熱海富士屋会談 自由民権運動盛んなる頃 大隈重信、伊藤博文、黒田清隆、山県有朋ら 明治政府の要人が熱海で国事を語る |
|--------------------------------|------------------------------|--|-----------------|---|------------------------------------|--|------------------------------------|-------------------------------------|--|------------------|---|



新幹線開通の日の熱海駅



丹那トンネルの開通を喜ぶ人々たち



樋口ホテルに來湯した伊藤博文



⑤熱海芸妓が舞う 湯めまちをどり 華の舞
熱海は日本でも屈指の芸妓街。現在でも 100 の置屋があり、200 名あまりの芸妓さんが所属しています。そんな芸妓さんの踊りを見学できるのが、芸妓連歌舞練場「芸妓見番」。松千代、沙都美、ほたる、京馬…と、日本髪に結った芸妓さんの写真を観るだけでも心が躍ります。「一人前になるまでは3年の修業が必要なんです」と話してくれたのは金太郎ねえさん、熱海芸妓置屋連合組合の広報を担当する親松結香さんの源氏名です。
熱海市中央町 17-13

熱海芸妓見番 湯めまちをどり 華の舞
毎週土曜日・日曜日午前 11 時～1 回開催。
大人 1300 円



④熱海の街は小型車で
熱海は海岸線のすぐそばまで山が迫る起伏に富んだ地形なので、街巡りは小型車が最適。案内してくれた観光推進室ロケ支援担当の山田さんは原付姿。賢い選択です。



元気日和
熱海市
「新生」熱海に期待です!!
齋藤市長



①大観荘
もともと実業家の別荘として建築された大観荘。創立者と懇意な間柄にあった横山大観画伯の名を頂いて、昭和 23 年に旅館が開業しました。数寄屋造りの佇まいと美しい日本庭園が有名な、熱海を代表する老舗旅館です。「奇をてらわす、心からのおもてなしをすることが信条です」と、刀禰努総支配人が語ってくれました。
熱海市林が丘町7-1



⑥ゆしま遊技場
スマートボール1回 500 円、射的8発 500 円。的に命中させるにはコンが必要。懐かしい昭和の遊びです。
熱海市銀座町 5-9



③熱海の海岸線
国内で初めて、砂浜をライトアップしたという熱海サンビーチ。昼間はヤシの並木が海外のリゾート地の雰囲気、夜はムーンライトビーチへと変貌を遂げます。



②福島屋旅館
「熱海は初島もある観光地。だからウチには船中泊の人も温泉に入りに来るんです」と福島屋旅館の主、松尾光貴さん。夏は海水浴帰りの人も寄るとい、かけ流しの立ち寄り湯は 400 円。赤電話のあるフロントや、モザイクタイルのお風呂には昭和の香りが漂います。
熱海市銀座町 14-24

「結婚何周年記念というご夫婦のお座敷に呼ばれることもあり、最近では女子会に呼ばれることもあるんですよ。そして着物の着付けからお三味線や唄などを学びたいと入門する若い女性も多いです」
煌めく夜景と艶やかで元気な女性たちは、熱海の観光資源なのです。

その昔、新婚旅行で熱海を訪れた年代の人には、たまらない郷愁を感じさせる遊技場です。
一方で、旦那衆だけが楽しむのではなく、はもつたいたい、近年は女性たちにも人気なのが芸妓さんです。

昭和30年代には新婚旅行のメッカに、高度成長期には社員旅行の定番になった熱海。今は都心から近い別荘地として、著名人も数多くセカンドハウスを持っています。この地に降り立つ人々のファッションが変化すると共に、温泉街の様子も移り変わってきました。

現在、市内で唯一、スマートボールと射的を楽しむことができる『ゆしま遊技場』の女主人は話します。
「昭和40年代は、温泉街を歩く人同士の肩がぶつかるほどの賑わいだったわね」

歴史ある高級旅館から気軽に立ち寄ることのできる「日帰り入浴施設」まで、熱海温泉の堪能方法はさまざまです。
郷愁だけでなく、今に生きる温泉街

熱海の地形は起伏に富んでいます。相模湾に向かって傾斜した山肌、ぎっしりと並ぶ旅館、ホテル群。熱海駅からの直線距離はさほどでなくとも、目指す宿に着くには急な坂を登らなければならないのが定番。それでも日本中の人々が、この地の温泉にやって来るのには理由があります。

現在、1日の総湧出量は毎分約1万6千リットル。約9割が42℃以上で平均温度は約63℃。「熱海」の名そのものの熱い温泉の起源は今からおおよそ1260年前。海中に湧く熱湯を、漁民を助けるために、薬師如来への祈禱によって熱海の中腹に移したという神話があります。江戸時代には徳川家康が湯治に訪れ、明治時代には最新式の医療施設を備えた温泉保養センター「喻瀧館（きゅうたきかん）」が設立されました。温泉地で初めての御用邸が建てられるなど、日本の歴史のあちこちに、その名を記した温泉地なのです。

大正・昭和のモダニズムを
今に伝える建築様式



⑨ 起雲閣
鉄道王の異名を持つ実業家、根津嘉一郎の手による緑豊かな庭園、格調高い洋館、そして海運王と呼ばれた内田信也により建てられた和室など、贅を尽くしたモダニズムは圧巻です。邸宅の歴史の語り部は、熱海に魅せられた人々。館長の中島美江さんをはじめ、皆さん市外から移住して来られた方々だそうです。



熱海市昭和町 4-2
開館時間 9:00~17:00
(入館は 16:30 まで)
休 水曜日
入館料 大人 500 円 中高生 300 円

を綴っています。曰く「昏い海の向こうに、ちらちらと熱海の不夜城の灯がたなびいて、明滅していた」と。

不夜城時代の熱海には、三島由紀夫も新婚旅行で訪れたとのこと。昭和27年にオープンした喫茶店『ボンネット』のマスター、増田博さんは、この地を訪れた有名な人、そして熱海の将来について語ってくれました。

「僕はジャズと映画が好きでね。S盤アワーでかかっているような曲を流して、フレッド・アステアの映画に出てくる女性がかぶっている帽子『ボンネット』を店名につけたんだ。

三島先生とはホテルのプールサイドでよく会っていて、映画の話なんかで盛り上がってね。泳ぎを教えたこともある(笑)。

今、熱海は寂しい状況になってしまったけれど、これだけ東京から近くて自然の恵みがある街だから。この街で商売をする人と住む人たちが共存共栄すれば、きっと熱海は良くなるよ」

東京から新幹線で1時間の楽園、熱海は、知れば知るほど奥深い街でした。

谷崎潤一郎が愛した
仏蘭西洋菓子



⑧ 洋菓子モンブラン
1947年の創業より変わらない味を継承するのは村井梢さん(右)と妹の竹森満里さん。ミルフィーユを作る手順も、材料も変わらず。「心を継承しています」と梢さん。創業当時はレストランとして営業し、谷崎潤一郎氏も足繁く通ったそうです。



熱海市銀座町 4-8
営 10:00~18:00
(週末は 19:00 まで)
休 水曜日

太宰治は熱海の旅館滞在中に起きた出来事を発端に『走れメロス』を書き、谷崎潤一郎は熱海のホテルで『細雪』を執筆し、別荘を構えて晩年を過ごしています。

大正時代には与謝野晶子が初島を訪れ、『初島紀行』の中に、島の生活を記しています。また、林美美子は昭和20年代に初島を訪れ、『うず潮』のエピローグでは、初島から観た熱海海岸の夜景

著名人が集った
昭和の喫茶店



⑦ ボンネット
店内にはレトロなショーケース。中には芸妓さんのかんざしや、アメ横で仕入れてきた子どもの玩具などを置いて販売していた時代もあったとか。香りのいいコーヒーに加えて、米軍キャンプに出入りしていた増田さんがオリジナルで作ったハンバーガーもこの店の目玉です。



熱海市銀座町 8-14
営 9:00~17:00
休 日曜日

尾崎紅葉の『金色夜叉』の連載第一回目が、読売新聞に掲載されたのは明治30年。昭和に入り、たびたびドラマ・映画化されたこの作品は、熱海と深いゆかりがあります。

熱海市の指定有形文化財である「起雲閣」には、尾崎紅葉の間が。大正8年に実業家の別荘として建築された起雲閣。昭和22年には旅館として生まれ変わり、この宿を愛した人々として、山本有三、志賀直哉、谷崎潤一郎、太宰治など、日本を代表する文豪の名があります。

文人墨客が愛した理由
文化の発信は熱海から



しなやかに生きる

「みずから選択する賢いがんケアのすゝめ」

2人に1人はガンに罹患すると言われる時代。抗がん剤を使用した薬物療法は日々進化する中、がん宣告をされた日からのように生きるべきか、戸惑う人は多い。そこで日本ホスピス在宅ケア研究会理事も務める医師の長尾和宏氏、みずからもガンを克服し、「がん難民コーディネーター」の著書もある藤野邦夫氏にお話をうかがった。



インタビュー
（株）S・S・I 竹口雅之

竹口 現在、ガンに罹患する方は日本国民の2人に1人、3人に1人がガンで亡くなると言われています。この数を見てどのようにお感じになりますか？

長尾 ガンになるかどうかという前に、日本人の平均寿命が増えているという現実があります。長く生きるということは、それだけさまざまな病気にかかる可能性も増えるということですね。もはやガンはありふれた病気です。しかし人はガンになると「なぜ自分が？」と思うのです。特別な不幸として認識することに、私は違和感を感じます。そこでまず、ガンによる死亡率という数字を、いま再び確認して欲しいのです。2人に1人がガンに

罹患し、3人に1人がガンで亡くなるということは、6人に1人はガンにはなるけれど、ガンを要因として亡くなっている方たちはいないんです。その方たちは早期発見、早期治療で治っているのが現実だということです。

藤野 2人に1人がガンということについて、もう少し具体的に言いますと、どの家庭もガンとは無関係ではないということですね。家族が2人以上で成り立つと仮定すれば、どちらか1人ということになります。

2点目は医療のいいとこどりをすること。よく、医療否定をする方がいますが、日進月歩の科学を全否定したら損ですね。

3点目は、現代は統合医療の時代だということ。近年、人々が悩みながら決定的な治療法がないのはガンだけではありません。生活習慣病しかり、腰の痛みは老いですがね。老いを治療することはできないのですから、免疫力を高めたり、QOL（クオリティ・オブ・ライフ）を高めたりする必要があります。

もちろん保健医療は素晴らしいですし、医療の進歩も日進月歩です。しかしそれだけでは完結しないということに、医師



長尾和宏（ながお かずひろ）
昭和59年、東京医科大学卒。大阪大学病院勤務医を経て平成7年に長尾クリニック開業。日本ホスピス在宅ケア研究会理事を務める。

統合医療とは
西洋医学を中心として、西洋医学では力の及ばないところを補完。代替医療で補うことにより、患者に行う総合的、全人的医療。漢方医学、健康食品・サプリメント、アロマセラピー、カイロプラクティック、鍼灸などが含まれる。西洋医学が病気の根本原因を除いたり、対処療法を中心としているのに対し、補完・代替医療は人間のもつ自然治癒力を目覚めさせ、心身のバランスを整え、免疫力の向上を目的としている。

がん難民コーディネーター

長尾和宏 × 藤野邦夫

長尾クリニック院長



藤野邦夫（ふじの くにお）
フランス文学者、翻訳家、評論家。出版社勤務のち、2008年に自身のガン体験を経て「がん難民コーディネーター」として活動する。

竹口 藤野さんの著書「うろたえないガン治療（潮出版社）」に、がん治療は最初が肝心だとありました。

藤野 大事なものは、最初にガンと診断されたら、信頼できる人、あるいは家族と一緒に病院に行って、自分の病状を正確に認識することです。どこにどれだけの大きさがあるのか、いくつあるのか、ステージはどうかを自分でしっかりと認識するんです。その場で少し質問したただけでは、認識するのは無理ですね。まず1回目は医師が提案する

竹口 がん患者さんは、ずっと抗がん剤を使い続けるべきなのか、あるいは痛みや苦しみを取り除くことを考えて、抗がん剤をやめたほうがいいのか、どこで見極めをしたらいいのか悩むという場面にたびたび出会いますが、どのように考えたらいいのでしょうか。

藤野 それは一般化できる問題ではないですね。体力、年齢、あるいはガンのステージによって、一人ひとり違いますから。

長尾 がん医療には攻めるときと守るときがあると思います。サツカーの試合でも、攻めから守りに転じなければならぬときがあるように。しかしその見極めは、どうしても患者さん自身が必要になります。医師は結局のところ、患者さんのリクエストに応じて治療をするものなので。そこで自己決定をするためにも、患者さんは賢くする必要がありますね。

私は早期治療の段階から、統合医療を採り入れるべきと考えます。漢方などは統合医療の代表ですが、「食」も統合医療の一環だと思います。人生の最後まで美味しく食べるといふことの重要性を、医療は忘れていたのではないかと思います。東洋医療の中心は「食」です。体にいい食材を経験的に知っているからこそ、漢方が生まれたわけですね。

人間には、最後まで快食・快眠・快便ができるかどうか、その人らしく、人間らしく生きるクオリティ・オブ・ライフ（QOL）をどこまで維持できるかも大切なことです。きのこは日本の文化的栄養補助食品ですから、QOLを高める選択肢として、十分な可能性を秘めています。

ガンとわかったときから、肉体的な痛みだけでなく、精神的・社会的な痛みも取り除くのが緩和ケアであり、統合医療なんです。私は医師として、治療という狭い概念だけでがん患者さんに向き合っていないと思っています。

藤野 僕自身も昨年、胃がんになり、内視鏡の手術を受けました。また、がん患者さんや家族の方から6千通を超えるメールを受け、数百人の患者さんと共にガンと向き合った経験から言うと、あらゆるがん治療は発展途上なんです。しかし半年ごとに新しい薬や治療法が出てくる時代です。だからこそ、賢い患者になって欲しいんです。何よりも、いろいろ調べはじめると元気が出るものです。

仙生露生活のススメ

健康の基本は栄養と免疫力。
アガリクス茸で充実した健康生活を。

ミドルエイジを過ぎてからの体の変化やちょっとした不調についてのお悩みは薬局にご相談を。その豊富な知識で遠方からの相談も多い福岡市のひまわり薬局店長、中野偉功さんにお話をうかがった。



香月よう子(かつき ようこ)
フリーアナウンサー、きてきて先生プロジェクト代表として社会人講師と子供たちの出会いを演出。現在ラジオ NIKKEI「グローバルヘルスカフェ」にて国際医療協力の番組出演中。

香月 女性はどんなに年を重ねても健康で
きれいでいたいと思っていますが不調がど
んどん増えてきますね。

中野 女性はさまざまなステージがありま
すのでバランスを崩しがちです。とくに
閉経前後はいろいろな不調が出てきます。
臓器は使わなくなると冷えてくるんです。
冷えた臓器はガンと密接に結びついている
といえます。

香月 確かに冷えは気になります。何かサ
プリメントはありますか？

中野 冷えに良いとされるものはいろい
ろあります。体のめぐりをよくするとさ
れているものです。ただ、ミドルエイ

ジ以降の不調はまず、基本を整えること
が大事です。

香月 その基本というのは？

中野 この年代の方は仕事や家庭に忙しい
のに体力が落ちてきています。まず体の機
能を正常に働かせることが大事で、そのた
めに必要なのは、栄養と免疫力です。きち
んと栄養が補え免疫力がアップすると、
ベースのバランスが整ってきますよ。

香月 免疫力といえばアガリクス茸です
が、どうも高齢の方のものというイメージ
です。私も利用しているのでしょうか？

中野 香月さんのようなプレ更年期の女性

にはとくにおすすめです。この仙生露はあ
きらかにお客様の反応が違います。私のお
客様でいくつものお店を経営されていて多
忙な方がいますが、お試しになったところ
調子がよく元気になったそうです。栄養や
免疫を考えたベースの健康食品を補うこと
は大切です。

香月 液体タイプと顆粒タイプのどちらが
良いのか迷ってしまいます。

中野 漢方にも、そのものを食べるより抽
出液を飲んだほうが良いというものは多い
ですが、アガリクス茸もそのひとつです。
顆粒状のものは抽出液をフリーズドライに
していますので、飲みやすいほって大丈夫
ですよ。

香月 直接お聞きするといろいろ教えても
らえるんですね。

中野 「こんなことを相談してもいいの
かな？」というような不調や心配なども薬局
だと気軽に相談できます。かかりつけ薬局
は必要だと思いますよ。



薬局はお客様の反応を直
に知ることがあるので
いろんな情報があつて参
考になりました。冷えを
なんとかしたい！ その
ためのサプリを！と思っ
ていたけれど、相談して
みると、まず体の基本
を整えることが大事なん
だと気づきました。仙生
露を気軽に気長に続け
てみたいと思いました。



ひまわり薬局 本店
漢方館
福岡県福岡市東区和白 1-22-15
(JR福工大前駅 徒歩2分)
【電話】0120-4976-81

お店は気軽に寄って雑談できる明るい雰
囲気。本店の他、新宮店、新宮中学校前
店もあります。オーナー店長の中野偉功
さんは大手化粧品会社、病院に勤務経験
がある薬剤師。相談コーナーもあるので
じっくり話もできます。

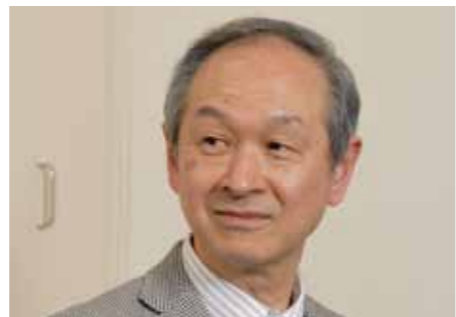
アクティブな患者を 目指して

特定非営利活動法人
がんサポートコミュニティの
活動に迫る。

株式会社S・S・Iは、特定非営利活動法人
がんサポートコミュニティを支援しています。

身体的にはもちろん、社会的、心理
的な苦しみが大いではないで
しょうか。そこで辛さを本当に共感
できる場があれば、患者さんは本来
の自分を取り戻すことができるはず
です。

また、病院、行政などにはさまざ
まなサポートシステムがあるにもか
かわらず、患者さんはその情報を手
に入れにくかったり、活用しにくい
場合があります。そこで私たちは
ネットワークを張り巡らせ、患者さ
んと行政・病院などの間に立つ「ハ
ブ」のような役割も担います」
コミュニティの活動は、看護師
やソーシャルワーカー、臨床心理士
といったサポートグループによる患
者さん同士の語り合いの場、ヨーガ
やアロマセラピー、自律訓練法と



渥美 隆之(あつみ たかゆき)
名古屋大学医学部卒。
東京通信病院外科、などを経て、2001年がんサポートコ
ミュニティ(当時ジャパン・ウェルネス)設立に関わる。
2010年理事長就任。

いったりラクゼーションプログラ
ム、がん患者さんとご家族、そして
広く社会に向けたがん知識・意識の
向上を目指した啓発プログラムなど
実にさまざまです。

歯科医師でもある大井賢一事務局
長は、同コミュニティのプログラ
ムの基本は、がん患者さんが『アク
ティブな患者』になることを目指す
ことと語ります。

「アクティブな患者とは、患者さん
と医療チームがタッグを組んで、積
極的にガンと向き合う姿勢である
ということ。」

また、ガンと診断されることは到
着点ではなく出発点であるというこ
とです。とくにターミナルケアとい
うと終着点というイメージがありま
すが、ここが終着点ではなく、新た



特定非営利活動法人
がんサポート
コミュニティ
東京都港区虎ノ門 3-10-4
虎ノ門ガーデン 214 号室
【電話】03-6809-1825

